



[平成 27 年 9 月 1 日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部

東京都千代田区三崎町 2-5-3 〒101-8366

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

防災訓練の実施について

～東京湾南西部を震源とする震度 6 強の地震が発生したと想定～

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、平成 27 年 9 月 1 日防災の日にあわせて全社一斉に防災訓練を実施しました。

東京湾南西部（三浦半島沖から南に 5Km）を震源とする震度 6 強の地震が発生したと想定し、「鉄建事業継続計画 =TEKKEN BCP=」に基づいた安否確認訓練、人命救助訓練、復旧対応訓練等を実施しました。訓練には、本社及び全国の 8 支店、グループ会社を含む約 1,900 人の社員が参加しました。訓練を通じて、「鉄建事業継続計画 TEKKEN BCP」の課題を抽出し、計画の見直しをすることにより、BCP 体制を強化することを目的としています。主な訓練内容は次の通りです。

■訓練内容

①社員及び家族の安否確認

安否確認システム（PC、スマートフォン、携帯電話）を利用し、全社員・家族の安否確認を実施しました。

②被災状況・復旧支援体制の確認

鉄建 24 時間情報センターと災害対策本部が連携し、施工中の現場の安全確認や被災した現場への復旧支援、お客さまの復旧支援体制の確認を行ないました。本支店間の連絡は、災害時に通信制限を受けにくいとされる「災害時優先電話」を中心に、TV 会議システム、衛星電話、タブレットアプリによる画像中継（昨年は Skype、本年は FaceTime）等の通常電話回線以外の方法で相互連携訓練を実施するとともに、バックアップオフィスとなる関越支店や社員寮に対策本部を立ち上げる訓練等も実施しました。

③お客さまからの物資調達依頼への対応

今年度はじめての取り組みとして、お客さまから物資（仮設トイレや運搬車両）の調達依頼があったことを想定し、当社の協力会社に調達依頼をかけることも訓練に取り入れ実施しました。

④人命救助訓練

都内作業所においては、道路が陥没し作業員が怪我をしたという想定で、被災者を救出し、AED による心肺蘇生後、救急隊に引き渡すという訓練を実施しました。人命救助の様子はタブレットアプリによる中継で映像を交えながら災害対策本部に報告を行いました。

⑤その他

訓練終了後、本年もアルファ米、乾パン等の非常用備蓄食料の試食会を実施しました。

■今後、今回の訓練で見た課題を解決するために「鉄建事業継続計画 TEKKEN BCP」の改定を進めていきます。



指示を出す対策本部長（林社長）



訓練全景



お客さま対応班からの情報伝達



FaceTime を利用した現場との通信

以上